

研究部

1 基本方針

本年度は、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」の初年度となる。「未来を切り拓く力」とは、よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていくために、自らの個性を発揮し、自信をもって未来を切り拓く力であり、様々な困難な課題に、考え、判断し、積極的に対応する力である。また、「魅力ある学校づくり」とは、子供たちが安心して教育を受け、自らの力を発揮できることはもちろん、保護者や地域住民にも信頼され「魅力ある、地域とともにある学校づくり」に、副校長・教頭として取り組むべき課題である。さらに、学校における働き方改革の具現化を図り、教師にとっても「魅力ある学校」となるよう努めていかなければならないと考える。

研究に際して、「未来を切り拓く力を育む」ことのできる学校教育を目指し、全国共通研究課題の6つの課題の視点から、「継続性」、「協働性」、「関与性」の3Cに焦点を当て実践的研究を進め、成果や課題を共有・深化させ研究を進めていきたい。

また、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中、世の中が日常生活や経済社会活動を取り戻す動きが加速してきていること、学校でも、1人1台端末の実現により、ICT等を活用しながら、今後どのような状況においても、子どもたちの学びを保証し、この新たな学びを充実させていくことが重要だと考え、『個別最適な学び』、『協働的な学び』を推進していくための学校としての取組と副校長・教頭の役割」と設定し研究を進めてきた。そして、全国研究部長会、中央研修大会においては、「代表参加制」「参加型の分科会」「開かれた大会」の趣旨を踏まえ、オンラインまたはハイブリッド形式により開催した。今後、この研究の成果と課題を分析し、第13期全国統一研究主題へとつながる実践的研究を推進していきたい。